

第4章



地域別構想

地域別構想は、市域を前原北部地域、前原南部地域、二丈東部地域、二丈西部地域、志摩東部地域、志摩西部地域に分け、これからの地域づくりの方針を示しています。



二丈浜窪の蕎麦畑

4-1 地域別構想の位置づけ

- ◆地域別構想の内容は、全体構想を踏まえた上で、地域の資源や特性など**地域の特徴を生かした魅力ある地域づくりを進めるための方針**として掲げています。（全体構想に示した取組については、地域別構想に書かれていなくても、全体構想に即して地域の取組を進めるものとします。）
- ◆15校区で開催したワークショップの参加者の意見を踏まえ、身近な暮らしの視点に立った取組の方針として掲げます。

（１）特性と主要課題

地域の概況や地勢、土地利用、ニーズなどから読み取る地域の特性と主要課題を示します。

（２）将来像と基本目標

地域の目指すべき将来像と将来像実現に向けたまちづくりの主な視点をまとめています。

（３）地域づくりの方針

地域づくりの基本目標ごとに、地域資源を生かした魅力づくりの方針を示します。

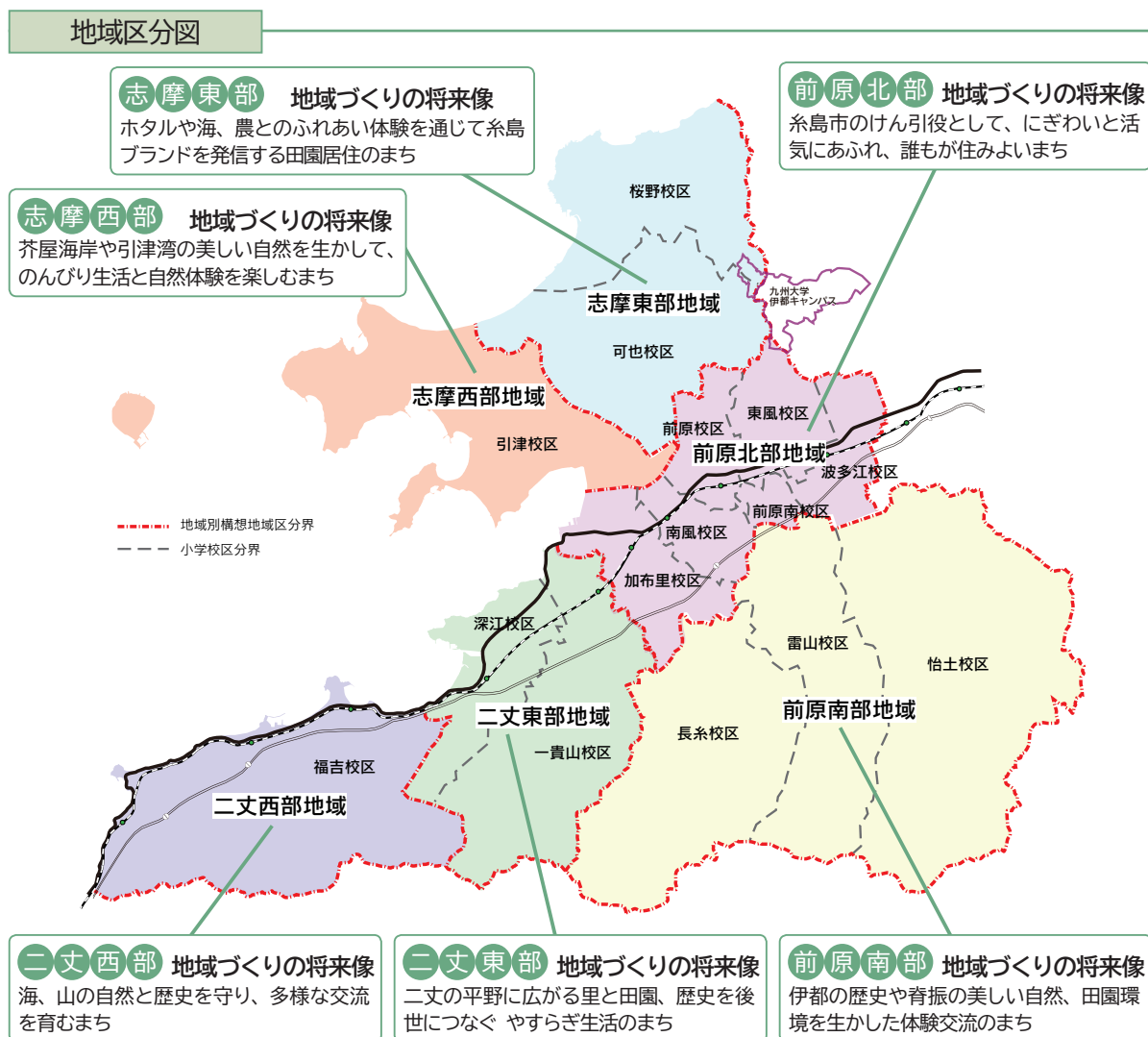


地域別構想図

地域のまちづくりの方針を展開すべき場所を示し、あわせて想定される取組を示します。

4-2 地域区分

- ・地域は糸島市国土利用計画に基づき、以下の6地域に区分します。



地域名	小学校区	校区数
前原北部	波多江、東風、前原、前原南、南風、加布里	6校区
前原南部	長系、雷山、怡土	3校区
二丈東部	一貴山、深江	2校区
二丈西部	福吉	1校区
志摩東部	可也、桜野	2校区
志摩西部	引津	1校区

<各地域の人口と高齢化について>

- ・人口：住民基本台帳の数値。
- ・高齢化率：人口総数に占める 65 歳以上の人の割合。

4-3 前原北部地域

(1) 特性と主要課題

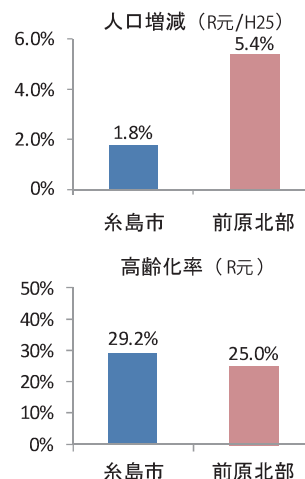
●地域の特性と意向

- ・本市の中央付近に位置し、J R筑肥線や国道 202 号に沿って市街地が形成され、本市の中心的な役割を担う地域です。
- ・人口は6地域の中で最も多く、近年増加傾向にあり、高齢化率は地域の中で最も低い状況です。
- ・物販、飲食・娯楽、業務、文化、教育、医療など多くの都市的サービス施設が集積する地域です。
- ・前原 I C 周辺には、糸島リサーチパークや産業団地があります。
- ・九州大学伊都キャンパスが立地し、泊カツラギ地区周辺では大学と連携したまちづくりが進められています。
- ・J R筑肥線と広域幹線道路である国道 202 号、同バイパス、西九州自動車道が通っています。また、筑前前原駅を起点として市内各所を結ぶバスなどの公共交通ネットワークが形成されています。
- ・市民意向では、「中心市街地活性化の推進」への期待が高く、また「公園・広場、河川敷」など憩いやレクリエーション空間の整備が求められています。

【概況】

- 人口：59,641 人
(糸島市全体の 58.7%)
- 校区：波多江校区、東風校区、前原校区、前原南校区、南風校区、加布里校区

〈令和 2 年 3 月末現在〉



【地域別懇談会参加者の意見】

項 目		主な意見
第1回：参加者アンケート	地域の魅力やいいところ	・唐津街道・古い建物 ・笹山の桜／丸田池公園、伏龍池／池田川の桜 ・並木／雷山川・瑞梅寺川・多久川 ・図書館・文化会館 ・志登支石墓群・志登神社 ・静かな環境 など
	まちづくりで大切なこと	・中心市街地の活性化 ・自然との共生／自然環境と開発の調和 ・企業誘致 ・高齢者にとっての住みやすさ など ・安全安心・雨水対策・避難所、避難路 ・歩行者や自転車通行の安全性の重視 ・美しいまちづくり
	将来の地域イメージ	都会の人が移住したくなるユートピア／誇れるふるさと／のびのび／農村都市／都会の田舎に住む感覚の住環境／農村都市／Fresh City／つながる糸島／みんな元気 など
第2回：魅力づくりのための取組アイデア	拠 点	○前原商店街の活性化（商店街の集約化や共同化、空き店舗の有効活用 など） ○公共公益施設の集約化 ○歴史文化、飲食物販、高次医療、ギャラリーなど集客機能の強化
	活 力・にぎわい	○雇用促進のための企業誘致 ○玄関口としての情報案内機能の強化 ○伏龍池横の県有地の有効活用 ○拠点へのアクセス性を高める I C 設置 ○住宅地内で歩いて暮らせる生活利便施設の誘導 ○新駅周辺のにぎわいづくり
	生 活	○歩行者の安全性を高める道路整備や歩道設置、バリアフリー化 ○主要道路の改善（速度規制や右折専用レーンなどの設置） ○駅の改善（新駅の早期整備や波多江駅南口のロータリー化、加布里駅のエレベーター設置） ○駐車場の整備などによる乗り継ぎ機能の向上 ○巡回バスルートの改善 ○笹山公園などの既存公園の改善やスポーツができる公園の整備 ○身近な公園・ポケットパークなどの維持管理 ○河川を生かした散策道、自転車道の一体的整備 ○雨水・浸水対策の充実、避難路・避難施設の防災性強化
	環 境・景 観	○水辺を生かした商店街づくり（小運河） ○河川沿いの魅力化（桜並木など） ○街区での花などによる緑化推進 ○良好な景観ポイントの保全 ○長野川、雷山川などの自然環境保全（潮干狩りの規制）
	そ の 他	○小中高校や九州大学などの集積を生かした教育の充実 ○既存施設の有効利用

(注) 魅力づくりのための取組アイデアは、ポイントシールが多く付けられた意見を事務局で整理。

●地域づくりのための主要課題

①都市の発展を支えるにぎわいや活力の創出への対応

- ・本地域は市域全体へ高次の都市的サービスを提供する役割を担っているため、広域拠点としての位置づけにある筑前前原駅周辺をはじめ、波多江駅周辺、糸島高校前駅周辺の地区拠点では、多様な都市的サービスを提供する拠点として、都市のにぎわいや活力の創出が求められます。
- ・多様な広域交流の促進や活力ある産業の育成を図るため、広域幹線道路となる西九州自動車道や国道202号バイパスからの交通アクセス強化など、魅力的な事業環境を創出することが求められます。

②安全かつ快適な市街地形成への対応

- ・多くの都市的サービスが集積する本地域は、各地域から集まる人々でにぎわい、国道を中心に周辺道路の交通量も多いため、交通事故の発生が懸念されています。また、台風や大雨による浸水被害への対策として、雨水貯留などの浸水対策をはじめ避難路や避難所の確保も求められています。

③地域の個性や環境共生への対応

- ・本地域の中央部には、のどかな田園風景に囲まれた市街地が東西にわたって形成されており、市街地内には前原名店街などの歴史をしのばせる街並みも残っています。拠点、幹線道路沿い、地区ごとの特性を生かした良好な景観の創出や自然環境との調和が必要です。

(2) 将来像と基本目標

●地域の将来像

糸島市のけん引役として、
にぎわいと活気にあふれ、誰もが住みよいまち

●地域づくりの基本目標

①都市のにぎわいや多様な交流活動を支えるまちづくり

筑前前原駅や各駅周辺は、本市の都市の玄関口として、また、地域の中心として、多くの居住者や来訪者の多様な交流活動を支える、にぎわいあるまちづくりを目指します。

②九州大学と農水商工の連携で産業を育むまちづくり

九州大学と糸島リサーチパークなどの産業団地の集積を生かし、農林水産業と商工業との連携を高め、産業の活性化を図り、新産業を創出するまちづくりを目指します。

③安全で安心して暮らせる、人や環境にやさしいまちづくり

歩行者や自転車利用者が安全に通行でき、公共交通が充実した交通環境を形成するとともに、災害に強く、環境にやさしいまちづくりを目指します。

④水辺や緑、歴史文化資源を生かした個性あるまちづくり

市街地外に広がる農地や河川、歴史的情緒を残す前原名店街などの資源は、地域の魅力や個性として活用し、都市として魅力の高いまちづくりを目指します。

（３）地域づくりの方針

①都市のにぎわいや多様な交流活動を支えるまちづくり

○広域拠点への高次な都市機能の集積

- ・広域拠点は、物販、飲食、宿泊、文化、防災、公共公益サービスなどの高次な都市的サービス施設の集積を推進し、より密度の高い中心商業・業務地の形成を図ります。魅力ある店舗構成や共同化・集約化、住宅との複合化、駐車場・バスセンターの配置などの土地利用の方策を検討します。
- ・まちなかでの文化交流やコミュニティの醸成に資するように空き地・空き家、公共施設の有効利用を図ります。
- ・波多江駅周辺は、広域拠点の機能を補完する地区として、市民の利便性の高い都市的サービス施設の誘導に加え、九州大学の学生や教員の日常生活を支える機能の充実を図ります。
- ・糸島高校前駅周辺は、日常商業サービス、健康・福祉、居住などの都市機能がコンパクトに適切に配置した低炭素都市のモデル地区の形成を図ります。

○多くの人が集う場としての質の高い市街地環境の創出

- ・広域拠点や地区拠点は、地域内外から多くの人が訪れる交流の場として、誰もが快適に過ごせる質の高い市街地環境の形成を図ります。
- ・各駅周辺では、来訪者が「いとしま」を感じられるような駅前空間づくりを検討するとともに、玄関口を生かした情報案内機能を強化していきます。
- ・広域拠点、地区拠点、生活拠点の各地区では、ウォーキングコースの設定にあわせて誰もが気軽に憩うことのできる広場の創出を図ります。

②九州大学と農水商工の連携で産業を育むまちづくり

○南北の交通アクセスの強化

- ・産業連携や多様な交流を支える南北道路ネットワークとして、波多江泊線、学園通線の整備促進を図るとともに、広域幹線道路と幹線道路の結節点として（仮）波多江ＩＣ（構想）を位置づけます。

○雇用創出の場の確保

- ・空き事務所や空き家を活用し、新産業や都市型産業（研究開発、情報、コミュニティ、環境など）の創業を促進します。
- ・農林水産業、商業、工業などの産業間の連携、あるいは産業と九州大学との連携などが図られやすい道路整備や土地利用の誘導を図ります。
- ・工業・流通地域では、周辺環境と調和した緑豊かな操業環境を形成し、九州大学や学術研究機関の立地、交通アクセスの利便性を生かした企業誘致を進めます。

③安全で安心して暮らせる、人や環境にやさしいまちづくり

○快適性と安全性の高い市街地の形成

- ・徒歩圏内で身近な日常生活サービスが受けられるように、住宅地での身近な生活利便施設の誘導を図ります。

- ・市街地の雨水・浸水対策の充実を進めるとともに、災害時に有効に機能する避難所や避難ルートの確保を進めます。
- ・災害時の搬送ルートとなる緊急輸送道路の整備を促進するとともに、市役所の防災拠点としての機能強化を図ります。

○市街地と自然環境との共存

- ・市街地を取り囲む農地は、都市環境に潤いを与え、地域イメージを高めるものとして保全し、環境悪化に結びつくような開発を抑制します。
- ・泊カツラギ地区及び泊大塚溜池南地区は、九州大学の門前町として、自然環境との調和を図りつつ、企業・研究施設、学生・教職員のための居住やレクリエーション施設などの土地利用を図ります。
- ・市街化区域隣接部においては、地区計画制度や県条例による区域指定の活用により、周辺の農業と調和する緑豊かなゆとりある居住空間を創出します。

○人にやさしい交通環境の創出

- ・駅前広場においては、駐車場や駐輪場、乗降スペースの確保、バリアフリー化を図ります。筑前前原駅周辺では、南北方面からの鉄道駅へのアクセス道路の改善を図ります。
- ・できるだけ自家用車に頼らないライフスタイルが展開されるよう、バスルートの改善を図るとともに、快適な待ち合い空間の創出を図ります。
- ・歩行者の安全性を確保するため、必要な交通安全対策を図ります。

④水辺や緑、歴史文化を生かした個性あるまちづくり

○レクリエーション環境の改善と創出

- ・笹山公園、加布里公園、宮地岳自然公園などの既存公園では、子どもや高齢者が身近に憩えるように環境改善を進めます。
- ・気軽にスポーツ・レクリエーションが楽しめる場の確保に努めます。
- ・ウォーキングやサイクリングが楽しめるネットワークの形成を目指し、河川や伏龍池周辺の活用や歩道空間の改善などを図ります。
- ・身近な公園や広場は、市民協働による維持管理を図ります。

○河川や溜池などの水辺の保全と活用

- ・雷山川、多久川、瑞梅寺川などの河川は、身近な憩いや散策、生き物とのふれあいを楽しめる場として自然環境を保全し、四季折々の風景が楽しめるような沿岸景観の形成を図ります。
- ・大塚溜池を生かし親水性ある公園整備などを検討します。
- ・雷山川河口（泉川）付近は、カブトガニやハマボウなどの生息地として環境の保全を図ります。

○低炭素型都市づくりの推進

- ・低炭素都市づくりのモデルとなるような市街地形成に取り組みます。

○良好な景観の保全

- ・志登支石墓群から美しい山容の可也山方向を望む良好な景観の保全に努めます。



糸島高校前駅

地域別構想図 (前原北部地域)

- 【土地利用】
- 中心商業・業務地区
 - 近隣商業・業務地区
 - 沿道施設地区
 - 住商複合地区
 - 低中層住宅地区
 - 低層住宅地区
 - 工業地区
- 計画的開発誘導地区
- 九州大学連携地域
 - 工業・流通地域
 - レクリエーション・リゾート地域
- 計画的市街地誘導地区
- 農林漁業地区
 - 自然・レク・リゾート施設(ゴルフ場)
 - 九州大学伊都キャンパス
 - 地区計画区域
- 糸島市境界
- 都市計画区域界
- 地域区分界
- 漁港

- 【公園緑地等】
- 自然系
 - 歴史系
 - 観光・レク系
 - 市街地内大規模公園
- 【自然環境】
- 保全緑地
 - 河川

- 【市街地】
- 身近な生活利便施設の誘導
 - 市街地周辺部での面整備の推進、ウォーキングやサイクリングが楽しめるネットワークの形成
 - 子どもが遊べる公園や広場の確保
 - 生き物とふれあえ、憩いの場となる河川環境の創出
 - 災害時の避難地・避難路の確保
 - 雨水・浸水対策の充実

- 【泊カツラギ地区】
- 九州大学の門前町づくり
- 【泊大塚溜池南地区】
- 泊土地区画整理事業の推進

・市街地を取り囲む農地の保全

・志登支石墓群から可也山方向を望む良好な景観の保全

- 【雷山川河口(泉川)付近】
- カブトガニ、ハマボウ生息地の保全

- 【波多江駅周辺】(地区拠点)
- 市民サービス、生活利便施設の誘導
 - 憩いの場となる街角広場の創出
 - パークアンドライド型駐車場の確保

- 【糸島高校前駅周辺】(地区拠点)
- 低炭素都市づくりのモデルとなる市街地の形成
 - 駐車場や乗降スペースの確保

- 【筑前前原駅周辺】(広域拠点)
- 商店街の集約化・共同化、空き店舗や低未利用地の有効活用、憩いの場となる広場の創出
 - 飲食物販、歴史文化、展示、医療など高次の都市機能の集約
 - 公共交通の利用促進につながる駅への交通アクセス道路の改善や乗降スペース・駐車場の確保
 - 市役所の防災拠点としての機能強化

- 【九州大学連携地域、工業・流通地域】
- 糸島リサーチパーク、産業団地、九州大学や学術研究機関を生かした企業誘致の促進
 - 周辺環境と調和した緑豊かな操業環境の形成

- 【河川】
- 水辺を生かした憩いの場や散策ルートの形成

- 【加布里駅・美咲が丘駅周辺】(生活拠点)
- 駅のバリアフリー化や巡回バスルートの改善
 - 駐車場や乗降スペースの確保

地域づくりの基本目標

- ①都市のにぎわいや多様な交流活動を支えるまちづくり
- ②九州大学と農水商工の連携で産業を育むまちづくり
- ③安全で安心して暮らせる、人や環境にやさしいまちづくり
- ④水辺や緑、歴史文化を生かした個性あるまちづくり

注)計画的市街地誘導地区・計画的開発誘導地区は、概ねの範囲を示しており、具体的な位置・距離などを明示するものではありません。

- 【拠点】
- 広域拠点
 - 地区拠点
 - 生活拠点
- 【主要施設】
- 小学校
 - 中学校
 - 市立コミュニティセンター
 - 幼稚園・保育園
 - 郵便局
 - 施設等

- 【道路・交通施設】
- 国道202号
 - 国道202号バイパス及び西九州自動車道
 - 幹線道路
 - 補助幹線道路
 - IC/新IC(構想)
 - 鉄道
 - 鉄道駅
- 広域幹線道路



4-4 前原南部地域

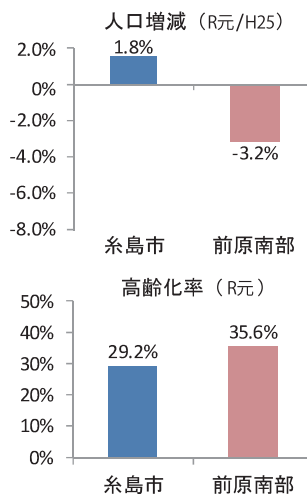
(1) 特性と主要課題

●地域の特性と意向

- ・本市の南東部に位置し、最も広い面積を有する地域です。北は田園地帯、南は脊振雷山県立自然公園である山林地帯を有しています。
- ・人口は減少傾向にあり、高齢化率は市全体に比べて高くなっています。
- ・農産物直売所、農業公園ファームパーク伊都国、雷山千如寺、白糸の滝、日向峠さくらの里公園などの自然レクリエーション・観光資源とともに、国指定史跡の曽根遺跡群や怡土城跡、雷山神籠石など、数多くの歴史文化資源が点在しています。
- ・雷山校区には前原IC周辺に産業団地が立地しています。
- ・市民意識調査では、公共交通の充実 19%、身近な商業施設 18%といった生活利便性の向上を望む意向が高くなっています。
- ・市民参画による長糸校区自主運行バスが運営されています。

【概況】

- 人口：12,852 人
(糸島市全体の 12.4%)
- 校区：雷山校区、長糸校区、怡土校区
〈令和2年3月末現在〉



【地域別懇談会参加者の意見】

項 目		主な意見
第1回：参加者アンケート	地域の魅力やいいところ	・白糸の滝・長野川／高祖山・日向峠 ・ファームパーク伊都国／都市と農村の交流 ・人が優しい ・長糸・雷山山系の景観 ・雷山千如寺・高祖神社、平原歴史公園、国宝の大鏡などの歴史資源 など
	まちづくりで大切なこと	・少子高齢化対策 ・既存施設の活性化 ・雷山の山並み景観を損なわない ・地域資源を基にした産業振興／地産地消 ・交通利便性 ・地域全員参画／人づくり・コミュニティなど
	将来の地域イメージ	クリーン／調和／いなか、いい人、いい自然／郷土に誇りのもてるまち／One for All, All for One／明るい農村とベッドタウン／子供の声が響くまち／自然と歴史の伊都国／未来に挑む地域づくり／糸島サイコー！／いとしまよかとこ／利便性はそこそこで自然保全 など
第2回：魅力づくりのための取組アイデア	抛 点	○生活利便施設の誘導（スーパー、農産物販売、コンビニなど） ○ファームパークの県道大野城二丈線沿いへの移転 ○遊休施設の有効活用
	活 力・にぎわい	○農地の有効利用（貸し農園、貸し農地、空き農地バンク） ○雇用の大きな産業や企業の誘致 ○生活拠点内での休憩所の設置（公衆トイレなど） ○酒蔵、生活拠点、白糸の滝を結ぶ観光ルート上での雇用の場の確保（農産品加工所など）
	生 活	○既存集落地における新規宅地化 ○空き家や古民家の再生と活用、空き家情報の提供 ○主要地方道大野城二丈線の速度規制の強化 ○学校周辺での歩道整備や集落内道路の拡幅 ○公共交通不便地区での生活交通手段の確保（買物バス、乗合タクシーなどの送迎など） ○軽スポーツのできる運動広場の整備
	環 境・景 観	○ホテル生息地の保全、多久川・雷山川の水質改善 ○脊振雷山山系の自然環境、自然景観の保全（建築物の制限や不法投棄の防止などのルール、竹林の拡大防止や活用方策の検討） ○高祖山山麓の遊歩道整備 ○花をテーマにしたフラワーロード化 ○エコや省エネルギーを生かした村づくり
	そ の 他	○オオキツネノカミソリ（花）や水無鍾乳洞の保全と活用 ○怡土城の再生や高祖神楽の継承 ○地域活動に参画しやすいルールづくり ○地域活動を担う人材育成 ○長糸の魅力の対外PRの強化

(注) 魅力づくりのための取組アイデアは、ポイントシールが多く付けられた意見を事務局で整理。

●地域づくりのための主要課題

①地域コミュニティの維持や暮らしやすさへの対応

- ・ 怡土校区、雷山校区、長糸校区ともに人口減少・高齢化が進んでおり地域コミュニティ活動の維持が困難になることが懸念されています。今後は、高齢者が安心して生活でき、子育て世代などにも移住・定住魅力がある快適な生活環境の整備や公共交通の確保が求められます。

②地域の資源を生かした活力創出への対応

- ・ 農業が盛んな本地域には、生産者と消費者とが交流できる農産物直売所や農林業体験施設のほか、曾根遺跡群や怡土城跡などの数多く残る文化財、雷山千如寺や白糸の滝といったさまざまな資源があります。それらの豊かな資源が地域の活性化につながるような有効活用が求められます。

③自然環境の保全・再生

- ・ 豊かな自然や田園風景の環境維持が望まれている一方で、農林業の担い手不足による耕作放棄地の増加や森林の荒廃、山間部や道路沿いのごみの不法投棄などが懸念されています。

(2) 将来像と基本目標

●地域の将来像

伊都の歴史や脊振の美しい自然、田園環境を生かした
体験交流のまち

●地域づくりの基本目標

①移住・定住魅力の高い生活拠点づくり

生活拠点の位置づけにある各小学校周辺は、地域コミュニティの拠点として、日常生活の利便性を高めるとともに、既存施設の有効活用も図りながら、移住・定住魅力の高い生活拠点づくりを目指します。

②自然や田園と調和した自然共生型居住のまちづくり

ゆとりや落ち着きを兼ね備えた、環境にやさしい自然共生型住まいのまちづくりを目指します。

③活力ある農林業を育むまちづくり

生業の場である優れた農地や森林を保全しつつ、農産物の直売や農林業体験などの展開によって、交流とにぎわいを高めるまちづくりを目指します。

④地域資源を生かして自然体験やレクリエーションを満喫できるまちづくり

農業公園ファームパーク伊都国や伊都国歴史博物館、平原歴史公園、白糸の滝、雷山千如寺などの地域資源を生かし、回遊性を高めて地域の魅力を満喫できるまちづくりを目指します。

（３）地域づくりの方針

①移住・定住魅力の高い生活拠点づくり

○日常生活を支える生活拠点の形成

- ・長糸、雷山、怡土の各小学校周辺は地域の生活拠点として、教育、文化、地域コミュニティなどの既存機能を維持し、生活利便施設の誘導を図ります。
- ・前原ＩＣ周辺の産業団地や糸島リサーチパークに企業などを誘致し、雇用の拡大を図ります。
- ・長糸校区では、地域の活性化に資するように民間事業者が所有する遊休施設の有効利用を図ります。
- ・利便性の高い公共交通を確保するため、運行ルートやダイヤ見直しと併せて、デマンド交通等新たな移動手段の導入を検討します。

○安全でうるおいのある集落環境の形成

- ・生活拠点では、安全で快適な歩道空間の確保や集落内道路の改善を促進します。集落地を横断する主要地方道大野城二丈線の交通安全対策を検討します。

②自然や田園と調和した自然共生型居住のまちづくり

○既存集落地と一体となった新規宅地の創出

- ・既存集落地では、地域コミュニティの維持を図るため、県条例や地区計画制度を活用して、子育て世代などの新規住民の移住・定住を促進します。
- ・地域と連携して、空き家・空き地に関する情報共有を図り、空き家や古民家の再生・活用について検討します。

○環境にやさしい集落地の形成

- ・再生可能エネルギーの多様化に向けて、白糸集落における小水力発電の継続や導入拡大を検討します。

③活力ある農林業を育むまちづくり

○農地の保全と有効利用

- ・優良農地を保全するとともに、貸し農園や体験農園など農とふれあう場として遊休農地の利活用を促進します。
- ・地域の活力を高めるため、拠点や既存集落地における特産品販売機能、飲食サービス機能の適切な誘導を図ります。

○森林の保全と適切な維持管理

- ・山間部におけるごみの不法投棄の防止対策に取り組むとともに、間伐や植林などによる適切な維持管理を行います。

④地域資源を生かして自然体験やレクリエーションを満喫できるまちづくり

○回遊性の向上と観光施設の整備

- ・さまざまな地域資源を生かした回遊性の高い観光レクリエーションルートを形成します。
- ・白糸の滝などの観光施設周辺の駐車場スペースの改善を図るとともに、主要な観光ルートにおいては公衆トイレなどの整備を進めます。
- ・水無鍾乳洞やオオキツネノカミソリなどの自然資源は保全を基本とした適切な活用を図ります。
- ・脊振山系の裾野から北部へと至る道路は、眺望や花々の美しい景観が楽しめる道路として、沿道空間の演出を図ります。

○歴史文化遺産の活用

- ・歴史の魅力あふれる地域として、数多く残る指定文化財の整備に努めます。

○溜池や河川の保全と活用

- ・雷山大溜池を生かした公園整備を検討します。
- ・ホタル生息環境の保全を図ります。
- ・地域特性に見合った適切な生活排水処理施設の整備を計画的に進め、多久川・雷山川・長野川の水質改善を図ります。



雷山千如寺の大力エデ（市の木）



白糸の滝

地域別構想図 (前原南部地域)

【歴史文化資源】
・数多く残る指定文化財の整備

【河川・溜池】
・水環境やホタル生息地の保全
・雷山大溜池の公園整備の検討

【農林漁業地区】(農山村集落地)
・優良農地の保全
・農地を活用した農とふれあう場の活用
・公共交通不便地区における生活交通手段の確保
・空き地・空き家に関する情報共有や再生・利活用
・地域に応じた生活排水処理施設の整備
・観光レクリエーション地区での駐車スペースの確保
・拠点や既存集落地における特産品販売機能、飲食サービス機能の適切な誘導

【森林保全地区】
・不法投棄防止対策
・観光レクリエーション地区での駐車スペースの確保

【幹線道路沿い】
・観光回遊ルートにふさわしい道路・沿道空間の創出

【各小学校周辺】(生活拠点)
・生活利便施設の誘導
・公衆トイレなどの観光施設の整備
・子育て世代など新規住民の定住化促進
・民間の遊休施設の有効利用による地域の活性化
・主要な生活道路の拡幅や歩道の設置
・(主)大野城二丈線での安全走行対策の促進

【土地利用】

- 住商複合地区
- 低層住宅地区
- 農林漁業地区
- 森林保全地区
- 自然・レク・リゾート施設(ゴルフ場)
- 九州大学連携地域
- 工業・流通地域
- レクリエーション・リゾート地域
- 地区計画区域
- 糸島市境界
- 都市計画区域界
- 地域区分界

【公園緑地等】

- 自然系
- 歴史系
- 観光・レク系

【自然環境】

- 保安林
- 自然公園
- 河川
- 山頂

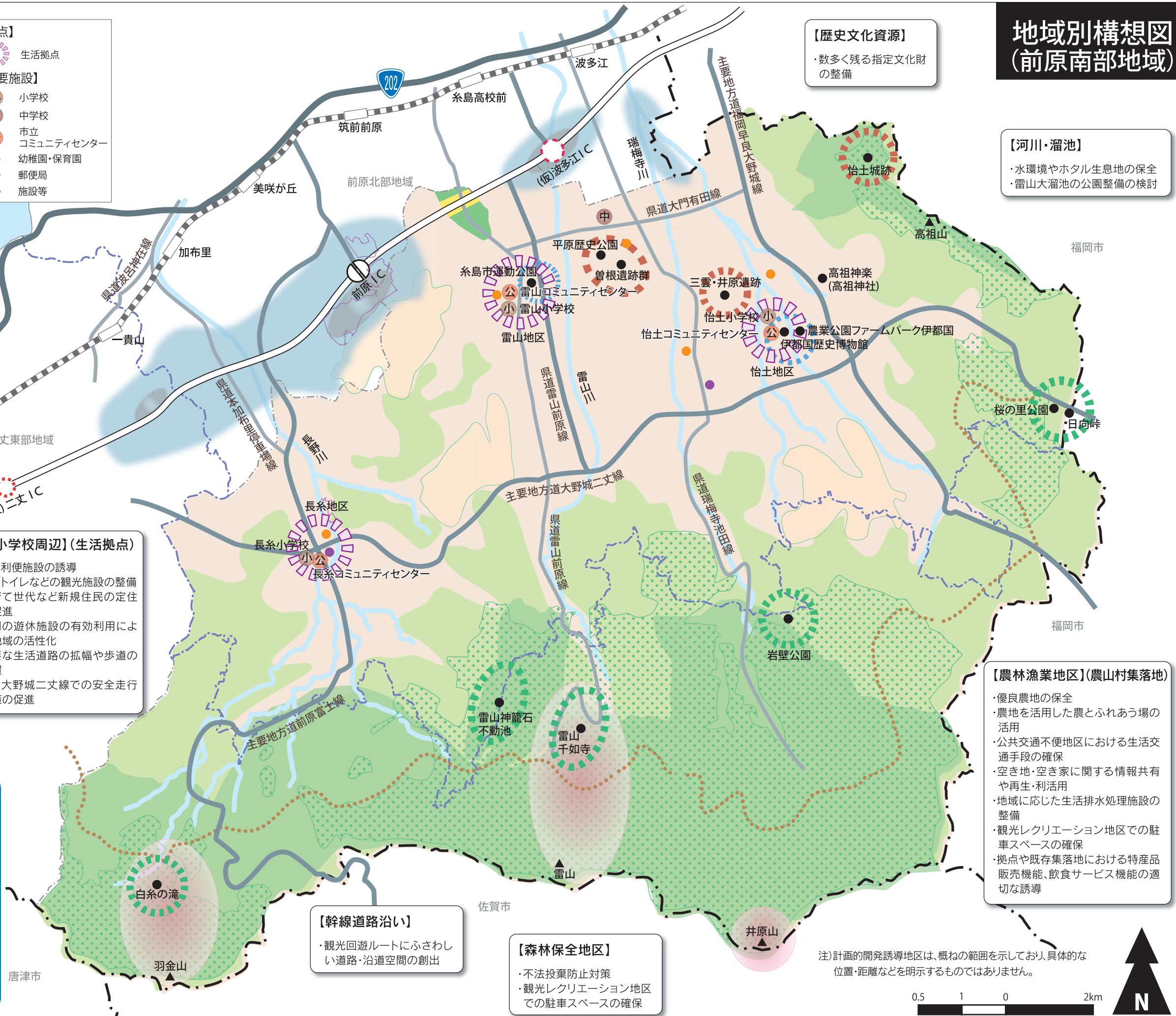
【道路・交通施設】

- 国道202号
- 国道202号バイパス及び西九州自動車道
- 幹線道路
- 補助幹線道路
- 広域基幹林道
- IC／新IC(構想)
- 鉄道
- 鉄道駅

計画的開発誘導地区

地域づくりの基本目標

- ①定住魅力の高い生活拠点づくり
- ②自然や田園と調和した自然共生型居住のまちづくり
- ③活力ある農林業を育むまちづくり
- ④地域資源を生かして自然体験やレクリエーションを満喫できるまちづくり



注) 計画的開発誘導地区は、概ねの範囲を示しており具体的な位置・距離などを明示するものではありません。

4-5 二丈東部地域

(2) 特性と主要課題

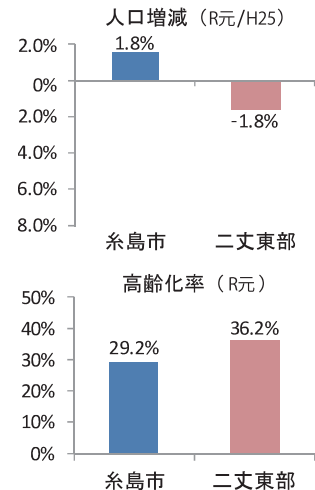
●地域の特性と意向

- ・本市の南部中央付近に位置し、地域南部及び海岸部に豊かな森林環境を有し、自然に恵まれた居住環境を有する地区です。J R筑前深江駅周辺とJ R一貴山駅周辺にはまとまった市街地が形成され、優良農地も広がっています。
- ・人口は減少傾向にあり、高齢化率も市全体に比べ高くなっています。
- ・玄海国立公園に指定された深江海岸や脊振雷山県立自然公園に指定された森林は貴重な自然環境を有し、レクリエーション施設として樋の口ハイランドがあります。
- ・市民意識調査では、排水処理施設 17%、公共交通 16%と身近な生活基盤の充実への意向が高くなっています。
- ・一貴山銚子塚古墳をはじめ平家ゆかりの龍国寺や千寿院の滝などの歴史資源が数多くあります。
- ・市民参画による一貴山校区自主運行バスが運営されています。

【概況】

- 人口：8,638 人
(糸島市全体の 8.5%)
- 校区：一貴山校区、深江校区

〈令和2年3月末現在〉



【地域別懇談会参加者の意見】

項 目		主な意見	
第1回：参加者アンケート	地域の魅力やいいところ	・ 浜窪～加布里公園からの夕陽 ・ 松国の一本桜・鳴滝／二丈岳 ・ 新鮮な食べ物	・ 田園・山・農村の景観 ・ 二丈温泉きららの湯／唐原の平家落人の里 など
	まちづくりで大切なこと	・ 自然の保全と継承 ・ 安心・安全 ・ 高齢者への対応	・ 買物や食事の利便性 ・ 観光・雇用の場／農業者の保護育成 ・ 人の和、思いやり、絆 など
	将来の地域イメージ	田園都市／enjoy できるまち／糸島ブランドを生かした農水産業と観光のまち／老人にやさしいまち／緑と農のいきさん／緑の風が吹くまち いきいき 一貴山 など	
第2回：魅力づくりのための取組アイデア	拠 点	○生活利便施設の誘導（医療福祉施設、物販施設など）	
	活 力・にぎわい	○一貴山平野を守る（農地の減少防止）、上質な田園環境を守る ○人が集まる場や生きがいがづくり(貸し農園、曲り田公園の改善・有効活用など)	
	生 活	○公共交通サービスの充実（乗合バス運行、公共交通チケットなど） ○ウォーキングコースの整備、通学路の歩道設置 ○まちなかでの集い、憩える場の整備	
	環 境・景 観	○海岸部の魅力化（深江海岸の保安林整備、体験漁業の実施、砂浜の景観保全など） ○自然を生かす（展望台の設置） ○環境重視（開発時の環境保全ルール、廃棄物・ごみ対策、河川の汚染改善、海岸利用のマナーアップ） ○一貴山川の利活用策の検討	
	そ の 他	○農業経営体制の充実	

（注）魅力づくりのための取組アイデアは、ポイントシールが多く付けられた意見を事務局で整理。

●地域づくりのための主要課題

①地域コミュニティの維持や良好な市街地形成への対応

- ・旧二丈町の中心地区である筑前深江駅周辺は、小・中学校やコミュニティセンターなどの公共施設をはじめ診療所や食料品店などが立地していますが、地区拠点として都市機能の充実をさらに図る必要があります。
- ・一貴山駅周辺を中心として用途地域が指定されており、駅前空間や駅へのアクセス道路の整備を進め、生活拠点としてふさわしい都市機能を整える必要があります。

②地域資源を生かしたふれあいや交流活性化への対応

- ・基盤整備された広大な美しい農地や波呂に見られるのどかな田園集落、深江の海岸線や森林部のレクリエーション資源を生かして、生産者と消費者との交流の場づくりが求められます。

③美しい海や山の自然、田園、歴史文化の継承

- ・当地域は、歴史文化資源や、海、山、川の豊かな自然環境を有していますが、近年では海岸部の白砂青松の松林が失われつつあります。今後、これらの歴史文化資源や自然環境などを共有の財産として保全・活用し、後世につなげていくことが求められます。

(2) 将来像と基本目標

●地域の将来像

二丈の平野に広がる里と田園、歴史を後世につなぐ
やすらぎ生活のまち

●地域づくりの基本目標

①地域生活を支える活力ある拠点のまちづくり

筑前深江駅周辺は地域の中心にふさわしい地区拠点の形成と、一貴山駅周辺は日常生活を支える生活拠点の形成を図るとともに、公共交通の充実によって、子育て世代や高齢者が住みやすいまちづくりを目指します。

②農林水産業、地域産業を生かした交流とふれあいのまちづくり

地域の基幹産業である農林水産業を生かし、地域の生産者と消費者の交流を高め、活力あるまちづくりを目指します。

③自然と調和したゆとりある快適生活のまちづくり

海や森、田園、里山などの豊かな環境の中で、多くの世代がゆとりある快適な生活を営むことのできるまちづくりを目指します。

④海、里山や田園、歴史文化を大切にした環境調和のまちづくり

豊かな海、山・川の自然、田園、歴史文化を貴重な資源として保全し、またこれらの資源を生かし、地域内外の人々がこれらの魅力とふれあえるまちづくりを目指します。

(3) 地域づくりの方針

①地域生活を支える活力ある拠点のまちづくり

○日常生活を支える生活拠点の形成

- ・筑前深江駅周辺は地区拠点として、筑前深江駅周辺から主要地方道大野城二丈線（都市計画道路深江中央線）沿道との一体性を高め、各種商業サービス施設の誘導を図ります。
- ・一貴山駅周辺では、駅前広場や道路などの基盤施設整備とあわせ、生活利便施設の誘導を図るとともに、地域コミュニティ活動の場、災害時の避難場所などの計画的な配置を促進します。

○安全で快適な交通環境の整備

- ・筑前深江駅では、駐車場・駐輪場や乗降スペースなどの交通結節機能を生かし、駅からの生活交通手段の充実を図ります。

②農林水産業、地域産業を生かした交流とふれあいのまちづくり

○農地の保全と遊休地の活用

- ・農産物生産の場である農地を保全します。耕作放棄地は、山林などへの転換や地域の活性化、交流に資する土地利用への転用を検討します。

○九州大学連携地域、工業・流通地域の適切な土地利用の誘導

- ・二丈武・松国地区周辺の国道 202 号バイパス沿道では、周辺の農地などの生産環境に配慮しながら工業施設などの適切な配置を図ります。

③自然と調和したゆとりある快適生活のまちづくり

○移住・定住の促進

- ・空き家・空き地情報の提供などにより移住・定住の促進を図ります。

○安全で快適な居住環境の形成

- ・市街地内の主要な生活ルートとなる道路の改善や歩道の設置を図ります。
- ・地域特性に配慮した生活排水処理対策に取り組みます。

○子どもや高齢者の憩いの場の確保

- ・既存集落では、地域と協力して子どもの遊び場や高齢者の憩いの場の設置に努めます。

④海、里山や田園、歴史文化を大切にした環境調和のまちづくり

○海、川の保全と活用

- ・ 深江海岸周辺の自然環境を保全するとともに、防風林機能の強化に向けて松林の保全・再生や環境美化に努めます。
- ・ 一貴山川などを生かして、水辺に親しみやすい環境づくりや小水力を利用した発電の場として活用を検討します。

○地域魅力の保全とまちづくりへの活用

- ・ 龍国寺や平家落人の里などの歴史資源やのどかな農村集落の雰囲気を守りながら、交流人口の増加を目指したまちづくりを促進します。
- ・ 眺望景観を楽しむことのできる視点場を確保します。
- ・ 健康づくりの観点から、旧唐津街道や周辺施設を生かしたウォーキングコースの設定と環境整備について検討します。

○自然環境保全のためのルールづくり

- ・ ごみの不法投棄防止対策に取り組みます。



深江漁港



筑前深江駅

地域別構想図 (二丈東部地域)

【土地利用】

- 一般商業地区
- 住商複合地区
- 低層住宅地区
- 工業地区

計画的
開発
誘導
地区

- 九州大学連携地域
- 工業・流通地域
- レクリエーション・リゾート地区
- 農林漁業地区
- 森林保全地区
- 二丈用途地域指定区域

糸島市境界

都市計画区域界

地域区分界

漁港

【公園緑地等】

- 歴史系
- 観光・レク系

【自然環境】

- 河川
- 保安林
- 自然公園
- 山頂

【拠点】

- 地区拠点
- 生活拠点

【主要施設】

- 小 小学校
- 中 中学校
- 公 市立
コミュニティセンター
- 幼稚園・保育園
- 郵便局
- 施設等

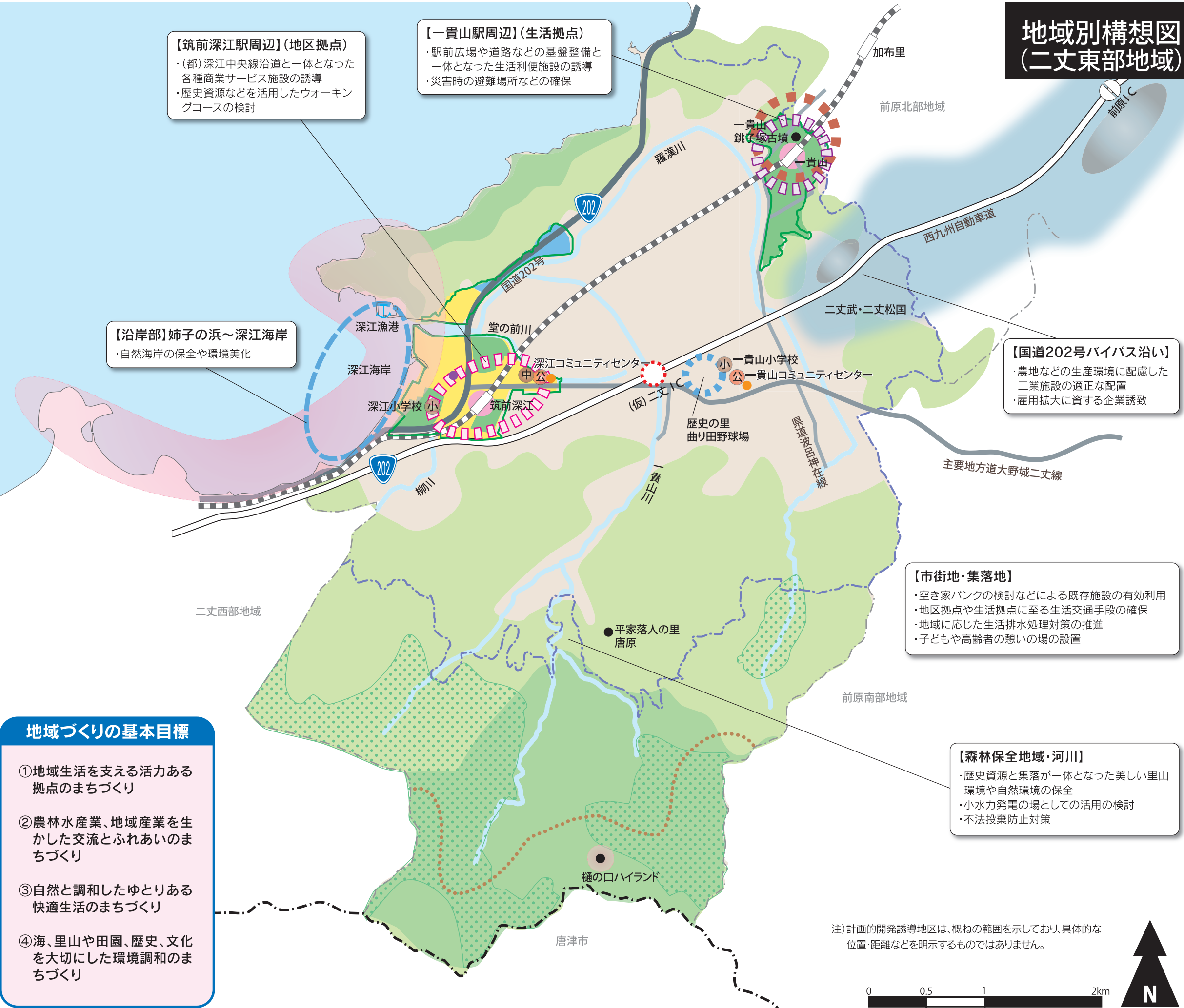
【道路・交通施設】

- 国道202号
- 国道202号バイパス
及び西九州自動車道
- 幹線道路
- 補助幹線道路
- 広域基幹林道
- IC／新IC（構想）
- 鉄道
- 鉄道駅

広域
幹線
道路

地域づくりの基本目標

- ①地域生活を支える活力ある
拠点のまちづくり
- ②農林水産業、地域産業を生
かした交流とふれあいのま
ちづくり
- ③自然と調和したゆとりある
快適生活のまちづくり
- ④海、里山や田園、歴史、文化
を大切にした環境調和のま
ちづくり



注）計画的開発誘導地区は、概ねの範囲を示しており、具体的な位置・距離などを明示するものではありません。



4-6 二丈西部地域

(1) 特性と主要課題

●地域の特性と意向

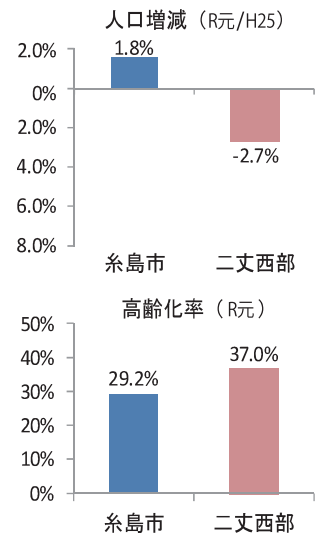
- ・本市の西端部に位置し、J R筑肥線福吉駅周辺や海岸線沿いに市街地が広がっています。南部には十坊山・浮岳などの森林から注がれる福吉川と加茂川沿いに優良農地が広がり、全国有数の赤米産地になっています。
- ・人口は減少傾向にあり、高齢化率は6地域の中で2番目に高くなっています。
- ・大入海岸、鳴き砂で知られる姉子の浜などの自然海岸、加茂ゆらりんこ橋、真名子木の香ランド、入浴施設などのレクリエーション資源を有しています。
- ・市民意識調査では、公共交通 18%、排水処理施設 16%と身近な生活基盤の充実を望む意向が高くなっています。
- ・福井神楽や地域一帯で行われる福吉神幸祭など個性豊かな伝統文化が継承されています。
- ・市民参画による福吉校区自主運行バスが運営されています。

【概況】

●人口：3,969人
(糸島市全体の3.9%)

●校区：福吉校区

〈令和2年3月末現在〉



【地域別懇談会参加者の意見】

項 目		主な意見
第1回： 参加者 アンケート	地域の魅力や いいところ	・姉子の浜海岸（鳴き砂）／ホテルが飛ぶ福吉・東川 ・美観と伝統歴史が重なっている ・新鮮な農・海産物がすぐに手に入る など
	まちづくりで 大切なこと	・癒し ・人口減の防止策／若者の定着 ・企業誘致／活性化・にぎわい ・市民全員参加／協働／地域を活性化させるにはどうしたらよいか考えること など
	将来の地域 イメージ	若いイメージの似合うまち／自然を取り入れた革新的なまち／住みたくなるまちづくり ／ゆったりとしながらも生き生きとしたまち／協調／自然豊かな住みよいまち など
第2回： 魅力づくりの ための取組 アイデア	拠 点	○生活利便施設の誘導
	活 力・ にぎわい	○山間部の体験の場づくり（有料農園の集約、体験的・観光的な農業振興など） ○企業誘致（若い人の働く場の確保） ○海や山の活用（海岸線のサイクリングロード化、登山道や駐車場の整備など） ○飲食物販施設の誘導（駅の近くに牡蠣小屋を誘導、直売所に食事スペース設置など）
	生 活	○福吉駅のエレベーター設置 ○子どもの落ち着く場づくり（小さな遊び場、子どもが道草できる場など） ○下水道などの整備 ○防災対策（大雨での水害が心配）
	環 境・景 観	○子どもが遊べる川づくり（川の再生、白魚・ホテルなど） ○松林の保全（福井大入の松など） ○文化財・伝統行事の活性化、特産品のPR ○あぜ道や土手の田園風景づくりや眺望点の確保（ビューポイント設置） ○海・川を生かしたエネルギーの自給
	そ の 他	○少子高齢化対策 ○鳥獣対策（サル・イノシシ・カラス） ○地域力の発揮（地元が主体となった区レベルのマスタープランづくり） ○太閤道の復元

（注）魅力づくりのための取組アイデアは、ポイントシールが多く付けられた意見を事務局で整理。

●地域づくりのための主要課題

①地域コミュニティの維持や暮らしやすさへの対応

- ・福吉駅周辺や国道202号沿いの生活利便施設の集積の低さが問題となっています。今後は、身近な生活サービス機能の強化や交通機能の維持・向上にあわせ、子育て世代にも魅力のある生活基盤の充実などによって、地域コミュニティの維持や暮らしやすさを高めていく必要があります。

②海、山の豊かな地域資源を生かした活力向上や交流活性化への対応

- ・美しい海岸線や森林部のレクリエーション資源の活用とともに、基幹産業である農林水産業の活性化を図るため、赤米、みかん、糸島カキなどの特産品を活用して、生産者・消費者の交流活性化の場づくりが求められます。

③歴史文化資源や豊かな自然環境の保全への対応

- ・当地域は、神楽や神幸祭などの個性豊かな文化資源や、鳴き砂、ホタルが舞う川、登山客でにぎわう山などの豊かな自然環境を有しています。今後は、これらの歴史文化資源や自然環境を共有の財産として保全・活用し、後世につなげていくことが求められます。

(2) 将来像と基本目標

●地域の将来像

海、山の自然と歴史を守り、多様な交流を育むまち

●地域づくりの基本目標

①駅を生かした生活利便性の高いまちづくり

福吉駅周辺は、地域の日常生活を支える生活拠点の形成と公共交通の充実によって、子育て世代や高齢者が住みやすいまちづくりを目指します。

②農林水産業を生かした活力と交流のあるまちづくり

地域の基幹産業である農林水産業を守り生かし、地域の生産者と消費者の交流による活力のあるまちづくりを目指します。

③ゆとりある快適生活のまちづくり

子育て世代、高齢者など、多くの世代が快適で安全に暮らすことのできる居住環境の整ったまちづくりを目指します。

④豊かな自然環境、歴史文化を守り、活用するまちづくり

豊かな海、山の自然、田園、伝統文化を貴重な資源として保全し、また、これらの資源を生かし、地域内外の人々が自然や文化とふれあえるまちづくりを目指します。

(3) 地域づくりの方針

①駅を生かした生活利便性の高いまちづくり

○日常生活を支える生活拠点の形成

- ・福吉駅周辺は地域の生活拠点として、小・中学校とコミュニティセンターの近接性を生かし、低・未利用地の有効活用を進めるとともに、生活利便施設の誘導を図りながら、子育て世代や高齢者が安心して生活できるようなまちづくりを目指します。

○安全で快適な移動環境の創出

- ・福吉駅での交通結節機能の改善を図るとともに、駅からの市民参画型交通の継続・充実を図ります。
- ・主要な生活ルートとなる道路ではガードレールや街路灯などの交通安全対策を進めます。
- ・美しい海岸線を生かしたウォーキングコースやサイクリングコースの設定を検討します。

②農林水産業を生かした活力と交流のあるまちづくり

○農林水産業を生かした交流の場の創出

- ・耕作放棄地は山林などへの転換や地域活性化に資する土地利用への転用を検討します。
- ・赤米、みかん、水産物、竹炭などの地域特産品を生かし、生産者と消費者との連携を高め、生産や農林漁業体験の場づくりにより、地域活性化を図ります。

○雇用の場の創出

- ・地域の基幹産業である農林水産業の集積を生かし、特産品の開発や加工など産業間の連携や雇用創出が図られやすい企業誘致を促進します。

③ゆとりある快適生活のまちづくり

○安全で快適な居住環境の形成

- ・地域特性に配慮した排水処理対策に取り組めます。

○子どもや高齢者の憩いの場の確保

- ・既存集落では、地域と協力して子どもの遊び場や高齢者の憩いの場の設置に努めます。

④豊かな自然環境、歴史文化を守り、活用するまちづくり

○美しい自然景観や田園景観の保全と景観への配慮

- ・玄海国定公園、脊振雷山県立自然公園などの海や山の自然環境を保全するとともに、地域と協働した環境保護活動に努めます。
- ・美しい自然を眺めることのできる視点場を確保していきます。
- ・あぜ道や土手への草花の植栽などによって、心を和ませる田園集落景観を保全していきます。

○海や川の再生と活用

- ・子どもたちがホタルやシロウオなどの水生生物に親しみ遊ぶことのできるように川の再生や、松林の保全・再生に取り組みます。
- ・自然歩道の整備を進めます。あわせて、間伐材を利用した自然歩道サインの設置を進めるとともに、駐車場の確保を図ります。
- ・河川などの自然を生かして、小水力発電などの場として活用を検討します。

○伝統文化の保全と活用

- ・神楽や神幸祭などの伝統行事を交流体験などに生かして地域の活性化を図り、伝統文化の継承に繋がります。



福吉神幸祭



広域基幹林道からの眺め

地域別構想図 (二丈西部地域)

【土地利用】

- 一般商業地区
- 住商複合地区
- 低層住宅地区
- 工業地区
- レクリエーション・リゾート地域
- 農林漁業地区
- 森林保全地区
- 自然・レク・リゾート施設(ゴルフ場)
- 地区計画区域
- 二丈用途地域指定区域
- 糸島市境界
- 都市計画区域界
- 地域区分界
- 漁港

【公園緑地等】

- 観光・レク系

【自然環境】

- 保安林
- 自然公園
- 河川
- 山頂

【道路・交通施設】

- 国道202号
- 国道202号バイパス及び西九州自動車道
- 補助幹線道路
- 広域基幹林道
- IC
- 鉄道
- 鉄道駅

【拠点】

- 生活拠点

【主要施設】

- 小学校
- 中学校
- 市立コミュニティセンター
- 幼稚園・保育園
- 郵便局
- 施設等

【福吉駅周辺】(生活拠点)

- ・低・未利用地の有効利用
- ・生活利便施設の誘導
- ・福吉駅の交通結節機能の改善、駅からの生活交通手段導入の検討

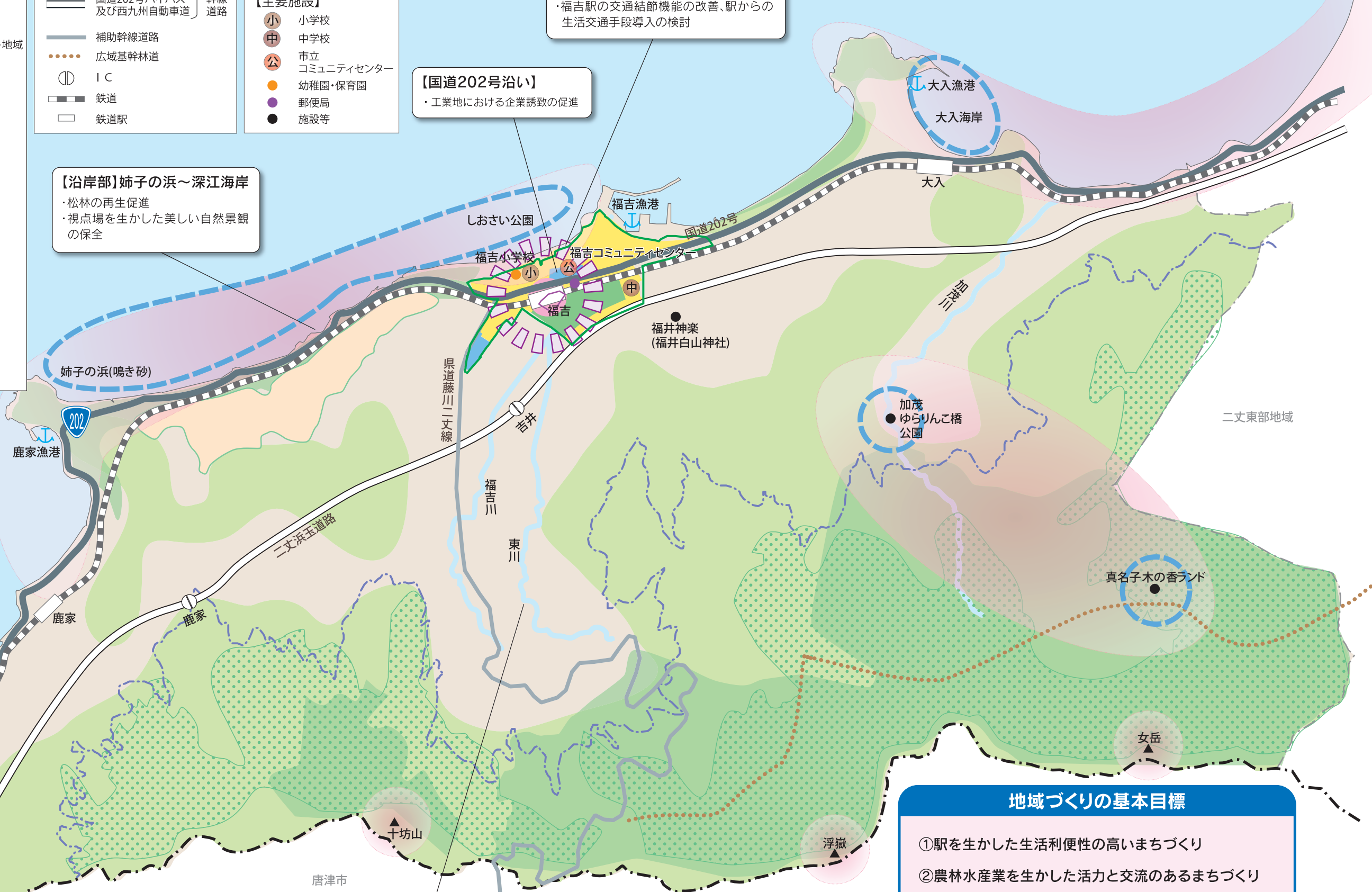
【国道202号沿い】

- ・工業地における企業誘致の促進

【沿岸部】姉子の浜～深江海岸

- ・松林の再生促進
- ・視点を生かした美しい自然景観の保全

注)レクリエーション・リゾート地域は、概ねの範囲を示しており、具体的な位置・距離などを明示するものではありません。



【農林漁業地区】(農山漁村集落地)

- ・農林漁業体験の場づくり
- ・地域に応じた生活排水処理対策の推進
- ・地域と協力した遊び場や憩いの場の確保
- ・田園集落景観の保全

【河川】

- ・子どもが遊べる川づくり
- ・再生可能エネルギーの場としての活用検討

【森林保全地域】

- ・背振雷山県立自然公園の美しい森林の保全・再生
- ・自然歩道未整備地域の解消や間伐材を用いたサインの設置
- ・視点場の確保

地域づくりの基本目標

- ①駅を生かした生活利便性の高いまちづくり
- ②農林水産業を生かした活力と交流のあるまちづくり
- ③ゆとりある快適生活のまちづくり
- ④豊かな自然環境、歴史文化を守り、活用するまちづくり



4-7 志摩東部地域

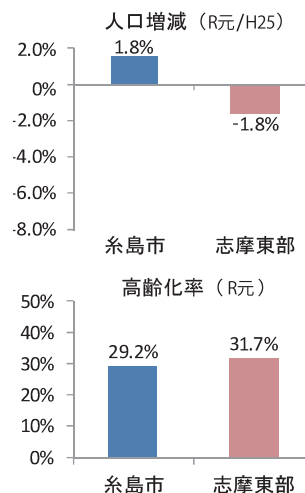
(1) 特性と主要課題

●地域の特性と意向

- ・本市の北部に位置し、北部の海岸線は玄海国定公園に指定され、また火山、彦山、天ヶ岳、宮地岳など独立系の山地からなる美しい自然景観を呈しています。
- ・人口は減少傾向にあり、高齢化率は市全体と比べ高くなっています。
- ・地区計画を定めている地区が15箇所あります。
- ・幣の浜や桜井二見ヶ浦などの自然海岸は、海洋レクリエーションの場となっており、さまざまなイベントの開催によって多くの来訪者にぎわっています。
- ・本市のふるさと景観のシンボルである可也山には、多くの登山客が訪れています。
- ・市街地、集落地、別荘地など、多様な居住スタイルが展開する地域となっています。
- ・九州大学伊都キャンパスが立地し、地域と大学との連携が期待されています。
- ・市民意識調査では、排水処理施設32%、公共交通18%と身近な生活基盤の充実を望む意向が高くなっています。

【概況】

- 人口：11,413人
(糸島市全体の11.2%)
- 校区：可也校区、桜野校区
〈令和2年3月末現在〉



【地域別懇談会参加者の意見】

項 目		主な意見
第1回：参加者アンケート	地域の魅力やいいところ	・桜井二見ヶ浦、夫婦岩、幣の浜、野北浜などの海岸線／彦山、火山などの山々 ・田園／桜井神社 ・生活利便性 ・地域の輪 など
	まちづくりで大切なこと	・農・工・商バランスのとれた雇用機会 ・さまざまな人々の交流や都市との交流 ・公共交通の充実や下水道の整備 ・ゴミのないまち ・若年層の人口増 ・Uターン・子育てのしやすさ ・地域の特徴 など
	将来の地域イメージ	世界の中の糸島／悠久の歴史を感じるまち／大市場福岡を生かせ！／また来たくなる癒しのリゾート都市／心豊かな幸せなまち／学園都市 など
第2回：魅力づくりのための取組アイデア	拠 点	○生活サービス施設の誘導（病院、日用品、飲食、特産品販売）
	活 力・にぎわい	○産業の継承（農水産品直売所の確保） ○九大農学部と地元との連携（試験農地としての提供など） ○サンセットロード（道の駅）の整備
	生 活	○自然共生型住まいの提供（空き家の利活用、空き地・空き家バンクの創設など） ○幹線道路の整備、サンセットロード（幣の浜ルート）の活用 ○生活道路・通学路の拡幅や歩道の整備、通学路の維持管理 ○公共交通の改善（野北線の折り返しを九大折り返しへ変更／高齢者の交通不便の解消など） ○子どもが遊べる広いスペースの公園やスポーツ施設の整備 ○上下水道の整備
	環 境・景 観	○豊かな自然環境の保全（ホタルが飛び交う場／海岸線の松の維持管理／初川の管理／自然を守る活動／来訪者マナーの改善） ○自然の再生（野北海岸 松林の整備） ○荒れた山林の管理
	そ の 他	○光回線の導入 ○地域と行政とのまちづくり情報の交換 ○地産地消（糸島ブランドの確立、生産者と行政のタイアップ）

(注) 魅力づくりのための取組 アイデアは、ポイントシールが多く付けられた意見を事務局で整理。

●地域づくりのための主要課題

①自然や田園景観と調和したゆとりある生活空間創出への対応

- ・旧志摩支所周辺には、病院、歴史資料館、小学校などの公共公益施設、日用品店舗が集積していますが、北部の集落地は生活利便施設の集積が低く、また、旧志摩支所や市中心部への公共交通アクセスが不便な状況です。今後、身近な生活サービス機能の強化や交通機能の維持・向上にあわせ子育て世代にも魅力のある生活基盤の充実が必要です。

②耕作放棄地の有効利用

- ・農村部では担い手の減少により、耕作放棄地の拡大が懸念されているため、九州大学の立地を生かし、農業生産技術の展開の場としての活用が望まれます。

③自然と都市との調和

- ・市全体に比べ人口が減少し、高齢化率も高くなっていますが、福岡市に隣接していることや、地域東部に九州大学伊都キャンパスが立地していることなどによって、今後比較的若い世帯の移住・定住が進む可能性があります。
- ・一部来訪者のマナー低下が顕在化しており、環境保護に対する意識啓発も望まれています。

(2) 将来像と基本目標

●地域の将来像

ホタルや海、農とのふれあい体験を通じて
糸島ブランドを発信する田園居住のまち

●地域づくりの基本目標

①生活利便性が高くゆとりある拠点づくり

地区拠点である志摩初地区周辺や生活拠点の桜野小学校周辺では、それぞれの役割分担に沿った生活利便施設を誘導し、田園環境や集落環境と調和した、生活利便性が高くゆとりある拠点づくりを目指します。

②九州大学と隣接する地の利を生かしたまちづくり

九州大学伊都キャンパス西側周辺地域は、九州大学連携地域及び工業・流通地域と位置付けており、自然環境に調和した産業の立地を目指すとともに、九州大学隣接部という特徴を生かし、研究・研修施設、交流・宿泊・滞在施設、九州大学関連施設などの適切な土地利用の規制誘導を図ります。

③自然の恵みを生かして観光交流を育むまちづくり

体験型農業の展開や九州大学の有する研究開発機能を生かした農地や耕作放棄地の有効利用、サンセットロードを活用した観光交流の活性化など、自然の恵みを生かして多様な出会いや交流を育むまちづくりを目指します。

④自然や田園と調和した自然共生型住まいのまちづくり

美しい自然や田園環境と調和し、緑豊かでゆとりある自然共生型住まいのまちづくりを目指します。

⑤地域資源を守り糸島イメージを発信するまちづくり

観光交流が盛んな本地域は、美しい自然などの地域の魅力を未来に引き継ぐため、市民、来訪者、行政がともに環境保全などに取り組むまちづくりを目指します。

(3) 地域づくりの方針

①生活利便性が高くゆとりある拠点づくり

○日常生活を支える地区拠点や生活拠点の形成

- ・志摩初地区周辺は地区拠点として、文化施設などの立地を生かし、飲食店などの商業サービス施設の誘導を図りながら、ゆとりと潤いのある拠点づくりを図ります。
- ・桜野小学校周辺は生活拠点として、子育て世代や高齢者が安心して生活できるように、生活利便施設の誘導を図ります。

○安全で快適な交通環境の整備

- ・バス利用者の利便性向上のため、乗車時間の短縮等を考慮した運行ルートやダイヤ見直し等を図ります。
- ・地域のニーズや需要を勘案し、市民参画型交通の導入検討などにより、公共交通不便地域の縮減を図ります。
- ・緊急車両の進入が困難な集落地における道路の改善や歩道整備、街路灯などの交通安全対策を進めます。

②九州大学と隣接する地の利を生かしたまちづくり

○幹線道路の整備促進

- ・前原ICから志摩初、九州大学方面を結ぶ道路ネットワークとして、学園通線西回りルートを位置づけます。

○自然環境に調和した九州大学関連施設及び産業の創出

- ・九州大学の世界水準の研究機能を生かした研究施設や関連施設、さらに、それらに関連する交流・宿泊・滞在施設や企業などが立地する「糸島サイエンス・ヴィレッジ」の整備を推進します。
- ・九州大学隣接部の地の利を生かして、産業と九州大学との連携が図られやすい道路整備や土地利用の誘導を図ります。

③自然の恵みを生かして観光交流を育むまちづくり

○ふるさとの山、田園を活用した交流の場の創出

- ・関係機関と連携を図りながら、既存道路を生かした糸島半島を周回するサイクリングコースの整備を目指します。
- ・サンセットロードの回遊性を高めるため、利用しやすいルートへの見直しを検討します。
- ・農地の有効活用策として、農業体験の場の創出や九州大学との連携による試験農場としての活用などを促進します。
- ・地域の活力を高めるため、拠点や既存集落地における特産品販売、飲食サービス機能の適切な誘導を図ります。
- ・可也山への登山がしやすい駐車場の整備を検討します。

○海に親しみやすい環境づくり

- ・マリンスポーツや海水浴などを快適に楽しめるように、公衆トイレの整備などの環境づくりを図ります。

④自然や田園と調和した自然共生型住まいのまちづくり

○地域資源を活用した自然共生型居住地の形成

- ・空き地・空き家に関する情報の収集や提供を図ります。
- ・地域コミュニティの維持を図るため、県条例や地区計画制度を活用して適正な規模のまちづくりを誘導し、緑豊かでゆとりある敷地を有した低層の自然共生型住宅地の形成を目指します。
- ・地域に応じた生活排水処理対策に取り組めます。
- ・市内で生産される木材を活用したモデル住宅地の創出を目指します。
- ・レクリエーション・リゾート地域の別荘型住宅地は、自然環境の中でゆとりと潤いのある良好な住環境の形成・保全を図ります。

○子どもや高齢者の憩いの場の確保

- ・既存集落では、地域と協力して子どもや高齢者の遊び場や憩いの場の設置に努めます。

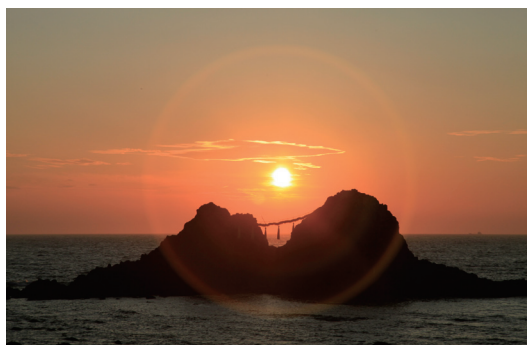
⑤地域資源を守り糸島イメージを発信するまちづくり

○美しい森林景観や田園景観の保全と景観への配慮

- ・可也山、火山などの美しい自然景観、田園風景の保全に努めるとともに、地域や来訪者などと協力して自然保護活動の活発化を図ります。
- ・あぜ道や土手への草花の植栽によって、心を和ませる田園集落景観を保全していきます。

○自然とふれあえる美しい水辺空間の創出と保全

- ・初川や桜井川のホタル生息地を保全します。
- ・初川の自然環境を活用したウォーキングコースの設定を検討します。
- ・桜井二見ヶ浦、幣の浜、野北海岸などでの美しい自然海岸の環境を保全するとともに、地域と協力してマナーアップの啓発や、環境美化、自然保護活動に取り組めます。



桜井二見ヶ浦

地域別構想図 (志摩東部地域)

【通学路】
・歩道の整備

【農林漁業地区】
(農山漁村集落地)
・農地を活用した農業体験の場づくりや大学と連携した試験農場としての活用
・既存集落地を生かした飲食、物販機能の適切な誘導
・空き地・空き家に関する情報の収集や提供
・県条例や地区計画制度を活用した新規住民の定住化の促進と緑豊かな自然共生型住宅地の形成
・緊急車両の進入が困難な集落地における道路の改善や歩道の整備、街路灯などの設置
・公共交通不便地区の縮減
・地域に応じた生活排水処理対策の推進
・子どもや高齢者の憩いの場の設置

【九州大学連携地域】
・九州大学の研究活動と関連する企業や研究所・交流施設などの立地誘導
・「糸島サイエンス・ヴィレッジ」の整備推進

【工業・流通地域】
・交通利便性を生かした工業・流通企業の誘致

【志摩初地区周辺】(地区拠点)
・地区拠点にふさわしい商業サービス施設の誘導
・ゆとりと潤いのある拠点づくり
・主要な生活ルートとなる道路の拡幅や歩道の整備、街路灯などの交通安全対策

【住宅市街地】
・自然共生型住宅地の創出
・ホテル生息地の保全

【桜野小学校周辺】
(生活拠点)
・生活利便施設の誘導
・子育て世代や高齢者が安心して生活できるような生活拠点としての機能充実

地域づくりの基本目標

- ①生活利便性が高くゆとりある拠点づくり
- ②九州大学と隣接する地の利を生かしたまちづくり
- ③自然の恵みを生かして観光交流を育むまちづくり
- ④自然や田園と調和した自然共生型住まいのまちづくり
- ⑤地域資源を守り糸島イメージを発信するまちづくり

【道路ネットワーク】
・サンセットロードのルート変更の検討
・半島を周回するサイクリングコース
・来訪者にわかりやすい案内情報の提供

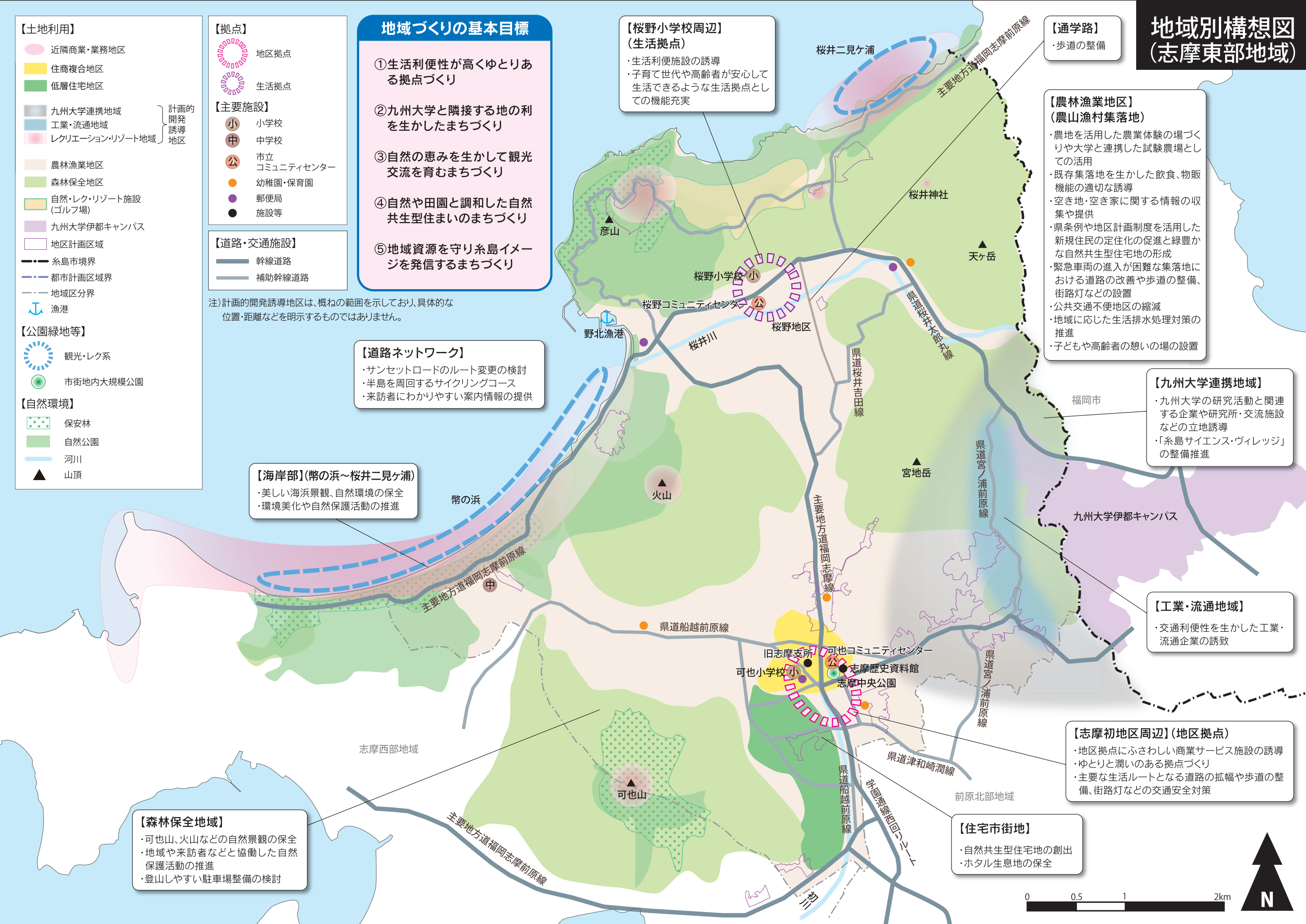
【海岸部】(幣の浜～桜井二見ヶ浦)
・美しい海浜景観、自然環境の保全
・環境美化や自然保護活動の推進

【森林保全地域】
・可也山、火山などの自然景観の保全
・地域や来訪者などと協働した自然保護活動の推進
・登山しやすい駐車場整備の検討

- 【拠点】
- 地区拠点
 - 生活拠点
- 【主要施設】
- 小 小学校
 - 中 中学校
 - 公 市立コミュニティセンター
 - 幼稚園・保育園
 - 郵便局
 - 施設等
- 【道路・交通施設】
- 幹線道路
 - 補助幹線道路

注) 計画的開発誘導地区は、概ねの範囲を示しており、具体的な位置・距離などを明示するものではありません。

- 【土地利用】
- 近隣商業・業務地区
 - 住商複合地区
 - 低層住宅地区
- 計画的開発誘導地区
- 九州大学連携地域
 - 工業・流通地域
 - レクリエーション・リゾート地域
- 農林漁業地区
- 森林保全地区
 - 自然・レク・リゾート施設(ゴルフ場)
 - 九州大学伊都キャンパス
- 地区計画区域
- 糸島市境界
 - 都市計画区域界
 - 地域区分界
- 漁港
- 【公園緑地等】
- 観光・レク系
 - 市街地内大規模公園
- 【自然環境】
- 保安林
 - 自然公園
 - 河川
 - 山頂



4-8 志摩西部地域

(1) 特性と主要課題

●地域の特性と意向

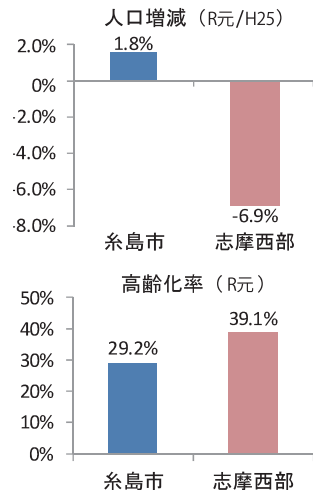
- ・本地域は、本市の北西部に位置し、幣の浜、芥屋の大門、姫島などの美しい自然海岸線は玄海国定公園に指定され、可也山は本市のふるさと景観のシンボルとなっています
- ・芥屋地区は、さまざまなイベントの開催により、多くの来訪者が訪れ、旅館街や別荘地が形成される観光レクリエーション地となっています。
- ・人口は6地域の中で最も減少が進んでおり、高齢化率も最も高い地域となっています。
- ・地区計画を定めている地区が7箇所あります。
- ・芥屋（福ノ浦）、岐志（新町）、姫島、船越の漁港では新鮮な魚介類が水揚げされています。冬の時期、一部の港では旬のカキを目当てに多くの観光客でにぎわいます。
- ・市民意識調査では、排水処理施設 34%、公共交通 23%と身近な生活基盤の充実を望む意向が高くなっています。また、地域北部では公共交通の充実への要望が高くなっています。
- ・市民参画による引津校区自主運行バスが運営されています。

【概況】

●人口：5,152人
(糸島市全体の5.1%)

●校区：引津校区

<令和2年3月末現在>



【地域別懇談会参加者の意見】

項 目		主な意見
第1回：参加者アンケート	地域の魅力やいいところ	・ゴルフ場から芥屋の大門までの海岸線 ・朝日・夕日 ・向こう三軒両隣・助け合う心 ・引津湾、芥屋の大門、龍王崎 ・小富士の梅林 など
	まちづくりで大切なこと	・災害に強い地域づくり ・子育てしやすいこと ・新旧住民の一体性 ・地産地消の生活 ・住み続けたい利便性のあるまち ・自転車や徒歩でも自活できる地域 など
	将来の地域イメージ	福岡から一番近くで快適、自然豊かなすばらしい田舎／きれいな海と山を大切に／農・漁業を生かしたまちづくり／コミュニティセンターを中心に住みやすいまち など
第2回：魅力づくりのための取組アイデア	拠 点	○日常生活必需品店舗の立地
	活 力・にぎわい	○サンセットロードの活用 ○コンビニと道の駅の複合施設、観光案内 ○自然や歴史を生かした散策ルートの整備 ○雇用の場の確保
	生 活	○若者定住の促進 ○敷地規模などの建物ルール化 ○道路の拡幅や歩道設置 ○コミュニティバスの運行 ○集落単位での広場・憩いの場づくり ○下水道の整備 ○災害に強いまちづくり（土砂災害対策）
	環 境・景 観	○海岸部の優れた景観の保全 ○歴史的景観を生かしたまちづくり ○松林の再生
	そ の 他	○志摩の魅力の情報発信（チラシ、グルメ券の発行） ○地域づくりリーダーの育成

(注) 魅力づくりのための取組 アイデアは、ポイントシールが多く付けられた意見を事務局で整理。

●地域づくりのための主要課題

①地域コミュニティ維持や暮らしやすさへの対応

- ・本地域は、人口減少や高齢化が著しく、地域コミュニティの維持が懸念されています。生活利便施設の少なさをはじめ、集落内の道路や生活排水施設の整備、身近な憩いの場も求められており、住みやすさの向上のための環境整備が必要です。

②自然や観光レクリエーション資源を生かした活力創出への対応

- ・多くの農水産物やレクリエーション資源がありますが、農業や漁業とふれあう場が少なく、また、観光資源相互の回遊性が弱い状況です。基幹産業である農水産業を生かし、多様な観光ニーズに対応した活力の創出が求められます。

③恵まれた自然の保全と活用

- ・美しい海岸線や可也山は、地域の誇りやシンボリック景観となっていますが、近年、海岸部においてはごみや騒音など一部来訪者のマナー低下も問題になっています。美しい自然を守り、多くの人が親しめる環境づくりが必要です。

(2) 将来像と基本目標

●地域の将来像

芥屋海岸や引津湾の美しい自然を生かして
のんびり生活と自然体験を楽しむまち

●地域づくりの基本目標

①地域コミュニティを育む生活拠点のまちづくり

公共公益施設が立地する引津小学校周辺は、地域の生活拠点として、地域コミュニティを育むまちづくりを目指します。

②農水産業を生かした活力あるまちづくり

幹線道路沿いに広がる農地や、芥屋（福ノ浦）、岐志（新町）、姫島、船越の漁港を生かし、観光との連携を高め、多くの人との交流を通じて活力ある農水産業を育むまちづくりを目指します。

③地域特性を生かした自然共生型居住のまちづくり

既存集落地、別荘地など、それぞれが持つ立地特性やライフスタイルを生かし、地域内交流やコミュニティが維持される快適な自然共生型居住のまちづくりを目指します。

④美しい海や山を守り、親しむまちづくり

芥屋海岸・野北海岸、可也山・立石山などの糸島のシンボルとなる自然環境に親しみ、守り育て、自然体験を楽しむまちづくりを目指します。

（３）地域づくりの方針

①地域のコミュニティを育む生活拠点のまちづくり

○日常生活を支える生活拠点の形成

- ・引津小学校周辺は生活拠点として、生活利便施設の誘導を図るとともに、子育て世代や高齢者が安心して生活できるよう生活拠点としての機能充実を目指します。

②農水産業を生かした活力あるまちづくり

○農水産業を生かした活力の創出

- ・農水産物の生産の場となっている農地や漁業環境の保全を図ります。
- ・漁業地域の活性化を図るため、多くの人々がマリレジャーに親しめるように、プレジャーボートの係留やフィッシングパークの設置などの多様な利用方策を検討します。
- ・地域の活力を高めるため、拠点や既存集落地における特産品販売、飲食サービス機能の適切な誘導を図ります。

③地域特性を生かした自然共生型居住のまちづくり

○安全でゆとりある自然共生型居住地の形成

- ・空き地・空き家に関する情報の収集や提供を図ります。
- ・地域コミュニティの維持を図るため、県条例や地区計画制度を活用して適正な規模のまちづくりを誘導し、緑豊かでゆとりある敷地を有した低層の自然共生型住宅地の形成を目指します。
- ・土砂災害対策や地域に応じた生活排水処理対策に取り組みます。
- ・レクリエーション・リゾート地域の別荘型住宅地は、自然環境の中でゆとりと潤いのある良好な住環境の形成・保全を図ります。

○安全で快適な移動環境の整備

- ・バス利用者の利便性向上のため、乗車時間の短縮等を考慮した運行ルートやダイヤ見直し等を図ります。
- ・志摩船越などの漁業集落地では、主要な生活ルートの拡幅や歩道の設置、緊急車両の進入が可能となるように道路の改善を図ります。

○子どもや高齢者の憩いの場の確保

- ・既存集落では、地域と協力して子どもの遊び場や高齢者の憩いの場の設置に努めます。

④美しい海や山を守り、親しむまちづくり

○美しい自然や景観の保全

- ・ 芥屋海岸や引津湾などの美しい海岸景観、新町支石墓群から可也山方向を望む田園景観などの保全に努めるとともに、地域や来訪者などと協力して環境美化活動の充実を図ります。

○海岸線や歴史資源を生かした回遊観光ルートの形成

- ・ 関係機関と連携を図りながら、美しい海岸線や史跡などを結ぶ既存道路を生かした周回型のサイクリングコースの整備を目指します。
- ・ 来訪者や観光客が目的地に訪れやすくなるよう、わかりやすい情報案内の提供を図ります。



芥屋の大門



恒例の音楽イベント

地域別構想図 (志摩西部地域)

- 【土地利用】
- レクリエーション・リゾート地域
 - 農林漁業地区
 - 森林保全地区
 - 自然・レク・リゾート施設(ゴルフ場)
 - 地区計画区域(市街化調整区域内)
 - 都市計画区域界
 - 地域区分界
 - 漁港
- 【公園緑地等】
- 歴史系
 - 観光・レク系
- 【自然環境】
- 保安林
 - 自然公園
 - 河川
 - 山頂

- 【拠点】
- 生活拠点
- 【主要施設】
- 小 小学校
 - 中 中学校
 - 公 市立コミュニティセンター
 - 幼稚園・保育園
 - 郵便局
 - 施設等
- 【道路・交通施設】
- 国道202号
 - 幹線道路
 - 補助幹線道路
 - 鉄道
 - 鉄道駅

地域づくりの基本目標

- ①地域コミュニティを育む生活拠点のまちづくり
- ②農水産業を生かした活力あるまちづくり
- ③地域特性を生かした自然共生型居住のまちづくり
- ④美しい海や山を守り、親しむまちづくり

【道路ネットワーク】

- ・美しい海岸線や史跡、漁港など地域資源を回遊するサイクリングコース
- ・来訪者にわかりやすい情報案内の提供

【自然・景観保全】

- ・芥屋海岸や引津湾などの美しい海岸景観の保全
- ・新町支石墓群から可也山方向を望む田園景観の保全
- ・地域や来訪者などと協働した自然保護活動の推進

【引津小学校周辺】(生活拠点)

- ・生活利便施設の誘導
- ・子育て世代や高齢者が安心して生活できる機能の充実

【雷山川河口(泉川)付近】

- ・カブトガニ、ハマボウ生息地の保全

【農林漁業地区】(農山漁村集落地)

- ・農地や漁業環境の保全
- ・緑豊かな自然共生型住宅地の創出
- ・空き地・空き家に関する情報の収集や提供
- ・県条例や地区計画制度を活用した新規住民の定住化の促進
- ・公共交通不便地区の縮減
- ・緊急車両の進入が困難な集落地における道路の改善、歩道の整備
- ・漁港における、多くの人々がマリンレジャーに親しめる環境づくり

【住環境の改善】

- ・居住密度の緩和
- ・道路の改善

注)レクリエーション・リゾート地域は、概ねの範囲を示しており、具体的な位置・距離などを明示するものではありません。

0 0.5 1 2km

